

( 囃中の口上文 )

時候の御障りもなくます く御機げんづるはしく  
御入らせ遊し千鶴万亀と御寿申しまゐらせ候 その  
もふじは厚き御鼻眞に相なり冥加の至りとやま く  
有難く御礼申上まゐらせ候なを此上ながら幾久敷御引  
立の程ねんじ上まいらせ候 かしく

月 日

中むら慶女